

ROTARY CLUB OF

**KANAZAWA-NORTH**



**金沢北ロータリークラブ**

例会日：木曜日 12:30~13:30

例会場：金沢市東山1-38-30・松魚亭

TEL<0762>52-2271 FAX52-2273

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL<0762>22-2525 FAX24-2882

会長：鈴木 透 幹事：坂下 直人

情報委員長：磯野 洋明

1990年8月9日 第420号

「まちづくりは 両にらみ」

金沢市助役 山出 保氏



6月5日に鉄道が2階に上りました。これからは、2階から電車に乗る事になります。

まだ、全部高架は完成しておりません。今、西口広場を市が工事しており、西口広場と高架の工事は来春完成されます。又、ヴィサージュの向い側も日本航空がメインテナントとして再開発されつつあります。これが完成すれば周辺は一変するだろうと思います。そうすると駅の東側がきたなくみえてくる。そうすると市役所は西口ばかりで東口に力を入れていないという強い御批判と要請がおこって

くると思います。ただ東口は色々ともむずかしい問題が多々あります。しかし東口も一生懸命しなければならぬ重要な所であることは間違いありません。

駅から武蔵にかけて直線で800mあります。この間を再開発やガイロ方式で開通させようとしております。又武蔵周辺も色んな方の御協力での再開発をやってもらおうと思っております。

今、香林坊がきれいになっております。そうすると武蔵や駅の方々から市役所はこちらの方へ力を入れてくれないという風に御批判が出てきております。しかし名鉄が出た時は香林坊の方々からこういう御批判がありました。しかしながら再開発には手順も順序も財政もバランスもあるということをお理解していただきたいと思っております。

金沢というのは、香林坊だやれ武蔵だということの競い合うことがこの町の活力になるのではないかと思います。町は近代化したい、とりわけ金沢の町の背骨にあたる片町、香林坊、武蔵、武蔵から駅にかけて駅の前後、港にかけては土性骨でありますからこの周辺を整理したい、近代化したい、そして町を活性化したい大事な所は再開発したいと思っております。

しかし、金沢は年間、国の内外から大勢の人々が訪ねてくれます。それは町がきれいで美しく古い物が残っている為だろうと思っております。そうしますと金沢という町は環境を大切に、景観を大事にしなければならないと思っております。今、景観行政を積極的に進めたいと思っております。そして皆様の御理解によってお互いに景観は公共のものであるという考え方を意識したいものだと思います。

金沢という町は、近代化する為には再開発をしたいという要請がありますと同時に片方では古い物は守りたいという要望もあります。駅の西口を整備すればその次は東側です。そして香林坊がきれいになればその次は駅であり武蔵であります。そういう訳で金沢の町づくりは、耐ず両方にらみながらやっていかなければならないと思っております。

— 金沢北RC例会講話より — (文責 辻 利陽)

## 「戦争。我が懺悔」(1)

越野 民男



### 序 文

浄土宗「心蓮社」は私の家のすぐ近くです。勿論私が近くに新居を構えたのですが。住職長島善雄氏は旧制中学校の一年先輩で、大学卒業後南方戦線へ出兵されました。ビルマで負傷され今の左手は義肢です。帰国後長年高校教師を務められたが、今回退職を機に仏教活動に専念されました。ともすれば荒れ果て勝ちの堂坊も今は整然と衣替えしましたが、今回その本堂の前に真新しい総檜造り「平和祈念塔」が厳かに建立されました。

彼の願望はその中へ広く全国から「平和のメッセージ」を奉納する事とか。少しでも奇妙な彼の心願に沿いたく拙文（私の体験記）「戦争。我が懺悔」を起稿した次第です。せめて、万分の一でも彼の心願に報いえる事が出来れば幸甚と存じて居ます。

少年の心は純朴です。然し境遇や教育により簡単に赤にでも、白にでも黒にでも染まり易いのもこの時代の特徴でしょう。

東洋平和、民族独立、植民地開放、白人優位、黄色人種虐待等々、考え様によっては総べて当然誤って居ない。今度の戦争もまさしく聖戦だと信じたのも無理ない事と思います。学徒の出陣式が挙行されました。ペンを銃にかえて。帽子も洋服も雨にぬれ、彼等の踏みしめる靴から泥水がはねかえって行く。明治神宮の外苑は若き血潮がほとばしって居ました。その光景。映画のスクリーンを見つめ涙にうるみ、血が湧くのを覚えたものです。

4ヶ年で終了する筈の医学教育も3年半に短縮され、昭和19年正月、私は中国満州、奉天（現瀋陽市）陸軍航空廠の営門をくぐりました。

昭和20年8月9日、ソ連軍満州へ進行。北満から着のみ着の佯逃れて来た日本の婦女子供で、学校映画館を始め、その他の公共施設は溢れました。

関東軍は奉天を頂点として南満州に防衛線を構築する予定とか。「遂に死ぬ時が来た」。胸にヒシヒシ迫るものがあります。色々な場所、様々な格好で屍体となって居る自分を想像して居ました。

昭和20年8月15日、陛下の最後の玉音放送あり。全員部隊広場に集合。日本の山々を越え、玄海灘を渡り、朝鮮半島を走って来た電波は雑音ばかりが大きく、時々聞きとれた陛下の涙声を「一億総玉砕命令」と受け取りました。然し誰れ云うとなく「敗けた」「無条件降伏だ」。一瞬……「死から生へ」……恥しいながら（生きられた）私は喜びを感じました。

8月15日から20日迄、奉天の街は不気味に静まりかえって居た。

8月20日、ソ連軍奉天市へ進入。

街は一変した。中国人の日本人に対する暴動が始ったのです。それは丁度我慢の堪忍袋が一度に爆発した様に激しいものでした。日本人の家は次から次へと放火される。盗難、強姦、殺傷までが始る。その歓声は日本人街にこだましました。主人達は度重なる召集で根こそぎ引き抜かれて居る。残されたのは女、子供、老人のみ。只逃げまどうだけである。昨日迄は日本人の前でニセ笑顔を作り、従順そうに見えた中国人は忽ち豹変しました。同胞の悲劇虐待を見て我々の血は逆流、心は反抗心に燃えました。日本人は島国育ち、単一民族で民族意識の特に強い国民だとか。我々は異常な

迄の反撃行動に走りました。敗戦、まして女、子供を交えての異国での敗戦のあさましさ。心は鬼と化す。あの頃を思い浮かべ今は懺悔の心に打たれて居るものの、後世に何か役立てばと思ひ筆をとらせて頂きました。

我々の満州航空廠は軍用飛行機の修理する工場部隊でした。始めは中国の戦闘での故障機が対照でしたが戦争の激化に従い南方からもドンドン送り込まれる様になりました。特攻機も再三飛び立ったのです。部隊は後に 237 部隊と改名されて居ます。たしか昭和 8 年頃より、内地の全域から小学校を卒業したばかりの少年が軍属として徴用される様になった。勿論彼等は第一線で働く事に誓を持ち、家族や村人から祝福されて入隊して来たのである。

私は先ず独身将校宿舎に入ったが、終戦の頃には霧島宿舎となづけられた軍属宿舎へ転居を命ぜられた。この宿舎には 16、7 才の未だ幼い軍属約 800 名近くが収容されて居る。日本海軍が未だかすかに玄海灘の航海権を手中におさめて居た昭和 18・9 年に日本から来た最後の軍属達です。10 数名の独身将校がその指揮官として配属されたが、終戦の頃には私は軍医ながら最古参者と云う事で宿舎の長の様なものになって居ました。

### 暴徒（中国人）捕縛す

我々の宿舎からは町端にある鉄西地区の状況は比較的はっきり遠望出来ました。鉄西地区は町の中心部から満鉄の踏切を渡ったその辺一帯で日本人の町工場が多く、在住邦人も比較的多い所である。8 月 20 日早々から暴徒に襲われました。町のあちこちで放火された煙が幾くすじも立ち上がり、次第に大きくなって行く。逃げまどう女や子供、暴徒の歓声は益々大きくなり広がって行きます。同じ日本人として断腸の思いですが助ける術も無く、只々地獄絵図をながめているのみ。

やがて彼等の一部は我々の方へも押し寄せて来たがこちらが大集団である事を知るや数発の砲音を残して退ち去って行った。

明け方近く指揮所へ報告が入って来た。

「昨夜暴徒の首謀者らしき者 10 数名捕縛。共同浴場に封じ込めてある」。現場に行ってびっくりしました。3、4 名の女性を交えた 10 数名の者、全員手も足も縛られ顔も身体も血にそめ倒れて居るではありませんか。こうまでした行動に出た皆の気持ちはよく分かります。然し中国人を通じて若しソ連側に知れたら「大変」主要人物一同銃殺を覚悟しなければなりません。

昨夜は夜中に宿舎の前を通過する戦車の音を何回も聞いた。治安維持と日本人の反逆を警戒しての事と思う。然し更に驚かされた事はその夜の間に宿舎が多数の中国人によって完全に包囲されているではありませんか。後で知った事だが、多分日本軍はソ連に拉致される筈、その時掠奪に取り残されない様にとの行動でした。

捕縛者の処分について堂々めぐりが続く。

解き放したら必ずソ連に知れる……と云って殺すわけにも行かず。

所がそれから 2 日後、逮捕した全員の姿が消えてしまったのである。我々将校全員は実戦の未経験者。宿舎内には実戦を体験した元軍人で、除隊後軍属となり未習工員用教育係となって居る者が大分居る筈。或いは彼等の誰かが。(?) 一時的に噂になったが何分非常時の事。噂もすぐたち消えになりました。兎に角、中国人にもソ連側にも全く知られずに無事治まったのである。

帰国後、昭和 35 年頃、部隊の金沢大会がありました。(毎年場所を代え各地を巡っています) 委員長は私だった。一行が兼六園を散策して居る時です。あの当時宿舎の炊事長していた男が近づき、声をひそめて話してくれました。

「一人宛目隠しをし、防空壕の前で命を奪った」と。その防空壕はあとで埋め全く気づかれなかったと云うのである。然し誰が実行者であったのか、彼の口からは聞かれませんでした。今思えば感謝すべき大恩人です。残暑の残る秋晴れの日でしたが一瞬当時の光景が浮かんで来て思わず寒気を感じました。美しい兼六園のあちこちに防空壕が浮んで見えた。戦争とは恐怖と罪悪の塊。同じ釜の飯を食べた仲間を守るための決心だったろう。あまりにも平和すぎる現在ではとても考えられない事とは云え、広島、長崎の原爆も戦争中の出来事だった。

## 患者の死を願う医者

裏手に大きな飛行場のある我が部隊は、街の入り口にあった。朝鮮や大連から来る満州鉄道は飛行場の横を走っている。駅へ入る汽車がブレーキをかけ始めるのは部隊を過ぎたあたりであるから街の中央にある駅からはそんなにも離れて居ない。部隊の正門から歩いて18、9分。距離にして約2 km近く位離れた所に我が宿舎があり、飛行場の側面より稍裏手に近い場所にある。部隊を過ぎる所から人家はまばらで急に寂しくなって来る。宿舎の周りには小さな部落がいくつも散在していた。殆どは苦力<sup>クリ</sup>が住んで居り、みすばらしく日中でもブラブラ遊んで居る者が殆どだ。その住民の大部分と更に応援に来た中国人を交え、部隊の策外には完全な包囲網が作られ、部隊は全く孤立状態となった。

街の暴動は3日位で治まって来たとか。

兎に角、悪い時には悪いことが重なるものである。悪魔の悪戯<sup>イブズ</sup>か。

宿舎内に赤痢が発生し蔓延し始めた。大流行になったら全滅だ。一にも二にも隔離する事である。毎朝全員の大便を点検した。大便を紙にのせた長い行列が便所の前に出来上がった。且って戦争中にもこんな事があった。あの時はむしろ隠ぺいを計ろうとする者が多く手をやいた筈である。然し今度は事情が全く違う。各人、事の重大さを認識したのか自ら名乗り出る者が多かった。当時の特效薬、トリアノンはまだ少し在庫があり一応流行をくい止める事が出来た様だ。

所が最年少組で、もとから虚弱者だった3人だけは、症状が次第に悪化するばかり、若しリンゲル注射でもあれば、然しどうにもならない。隔離した3人の部屋は蒸しかえる様に暑く蠅が部屋中飛び廻っていた。然し一羽の蠅と云えども伝染の源となる。3人共東北の出身者だった。昨年小学校卒業と同時に満州へやって来た組だ。意識は次第に弱まり昏睡状態になり始めた。枕許においた重湯も水も取らなくなって来ている。蠅は顔や手足を覆い素肌は半分も見えない。無意識の中に故郷を、又両親を偲んでいる事でしょう。敗けて異国で果てるのはどれ程残念だろうか。

されど……医者である私は流行の恐ろしさにおびえて居た。一日も早く世を去る事を祈って居りました。朝が来ると診に行く。未だ呼吸は止まって居ない。昼又行く。

「食べないのか」……「飲まないのか」……かすかに眼を開け頭をふるだけ。夕方も又同じ。私は泣きました。「堪忍してくれ」

それから2日経って3人は殆ど同時に世を去ったのです。手を取り合って東北まで、故郷の親の許へ帰ってくれ。誰が悪いのだ。戦争さえなかったら。せめて敗けて居なかったら。只々冥福を祈るのみでした。

枕を並べて3人を土葬にした。

とても大きな、そして真紅な夕日が西の空を紅く染めながら沈んで行く所でした。

(付記) 尚薬がないまま色々の病気で不帰の旅立ちした人が相当居りました。

(次号につづく)

## 新会員紹介



やまもと ゆきお  
**山本幸雄** 表 具

清芳堂店主 大手町10-24  
天神町2-8-7

TEL 21-4698  
FAX 21-4698  
TEL 64-2417

会員番号 136 夫人 幸子 趣味 音楽鑑賞  
入会 1990(平2)7 長男 圭一 将棋  
誕生 1946(昭21)9-5 二男 浩之  
結婚 1973(昭48)10-27 長女 智子  
所属委員会 職業奉仕委員会 三男 悟 保証人 坂下直人・二塚長生

## 交換学生紹介

(1990~91年度)



**Laurence Jean-Christophe**

ローレンス ジーン クリstoff

生年月日 1973年2月20日

現住所 15 Weller Avenue Welland Ontario L3C 4L7 Canada

電話 (716)488-4445

家族 父 Gerard M. Laurence (野外活動教育者)

母 Paulette C. Laurence (大学教授)

妹 Gabrielle E. Laurence

弟 Benjamin R. Laurence

ホスト家庭 (予定) 1~3月 吉田富士夫君  
8~10月 木下和吉君 4~6月 松本範夫君  
11~12月 滝 憲三君 7月~ 高島菊丸君

## 姉妹クラブ便り

韓国南光州RC

韓国南光州クラブ会長に曹基正氏(陶芸家)がなりました。以下役員は副会長 金成信(厨房)  
総務 丁海円(木材)、クラブ奉仕委員長 鄭誠一(帽子販売)、社会奉仕委員長 尹万重(鉄材)  
職業奉仕委員長 趙允行(ボイラー)、国際奉仕委員長 朴天学(小児科医)、週報委員長 金平  
連(機械販売)の各氏です。

南光州クラブは地区総裁の輩出、ローターアクト、インターアクトの他、国際交流にも多くの実績があり、金沢北クラブのほか、阿蘇クラブ、米国リボニアクラブが、又、韓国内でも南ソウル、南釜山の各クラブと姉妹関係にあります。

更に松江、和順、更に高興クラブのスポンサークラブでもあります。

(国際奉仕委員長 石丸)

# 第839回例会

◆ 7月26日(休)はれ 12:30~13:30 松魚亭



1. 講話  
「金沢の水」  
金沢市企業局長  
渡辺次男氏
2. 出欠  
出席54名、欠席28名  
出席率65.85%  
ビジター23名
3. 来訪者(敬称略)  
札幌幌南RC  
黒田幸一  
(シニア・アクチブ)

野々市RC 中村寛二(紳士服小売)  
金沢RC 谷本昭久、小坂栄作、  
田仲国重

金沢東RC 山本勝美、彦田昭雄  
真柄達郎、清水宥玄、永幡義輝  
浦田進、南昭武、浅田裕久

金沢西RC 嶋崎美納利、松本栄一  
小堀幸穂、松村弘

金沢南RC 朝倉靖彦、荒井源空  
橋本勝郎、飯田秀雄、福田邦彦  
香林坊RC 高田学

4. 幹事報告 ○ 新会員紹介 山本幸雄君

5. ニコニコボックス

高岡北RC 10月13日(土)~14日(日)に行います。  
第261地区大会には貴クラブより多数  
おいで下さい。会員一同心からお待ち  
致しております。

山本(幸)君 入会させて頂き、有難うございま  
した。

依 君 山本幸雄君の入会、大沢君の再入会お  
めでとうございます。

鈴木君、坂下君 新会員として山本幸雄君を、  
又大沢君の再入会に喜びを以って、

坂下君、二塚君 山本幸雄君入会おめでとう。  
本江君 山本幸雄君入会おめでとう。大沢君再  
びお目にかかれて嬉しいです。

大場君 山本幸雄君の御入会をお喜び申し上げ  
ます。

及川君 5年間にわたり、公私共に御厚情を賜  
わり誠にありがとうございました。金  
沢は第二の郷里として一生忘れない所  
であります。

奥田君 及川さん、サントリービールを沢山頂  
きましてありがとうございます。い  
つまでもお元気で。又、山本君のご入  
会をお喜び申し上げます。

乙村君 渡辺次男金沢市企業局長さんを講師に  
お迎えして。新会員山本君、再入会大  
沢君を歓迎します。

上田君 去る17日、大安吉日を選んで、長男が  
松任市で耳鼻咽喉科を開業致しました。  
これも皆様の御蔭です。親として今し  
ばらく期待に満ちた嬉しい日が続くそ  
うです。

高島君 7月始めより忙しく、今期初めて出れ  
ました。色々良い事もありましたので。

土屋君 メイクが続き、大変失礼しました。  
松田君 ようやく1ヶ月がたちました。ありが  
とうございました。又バッチを忘れた  
罰金として。

合計42,000円 (累計 132,000円)

6. 今週のニュース

- 旭富士(大島部屋)63人目の横綱に。  
平成では初の。
- 山中事件の差し戻し審、無罪判決。霜  
上被告18年ぶり自由の身に。
- 稲村左近四郎元国土庁長官が死去。半  
島振興法に尽力。

# 第840回例会

◆ 8月2日(休)はれ 12:30~13:30 松魚亭



1. 講話  
「これからの日米関係」  
北国新聞社政経部長  
大西正行氏
2. 出欠  
出席61名、欠席21名  
出席率74.39%  
ビジター37名
3. 来訪者(敬称略)  
野々市RC 中村寛二  
(紳士服小売)  
金沢RC 黒崎昌俊

小川利郎、坂尻哲夫、北川晶夫  
坪野俊雄、水上文雄、千田雅俊  
吉田国男、松本静夫、沓名修  
岡田尚壮、高柳卓三、大屋修  
蚊谷八郎

金沢東RC 平井大承、浦田進  
三田裕一、宮崎逸夫、長田稔  
東口洋、吉田幸雄

金沢西RC 太田辰巳、小堀幸穂  
東正樹、藤川範昭、成瀬巖  
別川献、島田将弘、澤野脩一  
酒井俊雄

金沢南RC 高桑明、高橋孝哉  
竹山昭夫、藤原秀興、清水昭男  
香林坊RC 坂井真之輔

4. 幹事報告 ○ ベルギー交換学生ご紹介

○ 例会終了後、理事会開催。

5. 御誕生日祝(敬称略)

|          |          |
|----------|----------|
| 10日 鈴木 透 |          |
| 1日 奥田久雄  | 12日 二塚長生 |
| 3日 沢田哲夫  | 18日 橋田 奨 |
| 4日 土原一二  | 22日 松田忠秋 |
| 7日 岡田 進  | 28日 二木正樹 |

6. ニコニコボックス

石丸君 ベルギーからマチュさん、ルクセンブ  
ルグからアンナさんを迎えて。

清水君 安江良介氏の岩波書店社長就任祝の会  
に際しては、当クラブから多くの方に  
参加して頂きありがとうございます。

魚住君 柴田様より、法隆寺官主から為楽への  
書状を拝受致し、又米澤様より、法隆  
寺古材為楽作の茶杓を拝受して。

坂口君 山本幸雄君の入会を祝して。

柴田君 鈴木先生の「星稜」の石川県代表を祝  
し、更に甲子園の善戦を祈る。

吉田君 5日まで県立美術館で、二紀展を開催  
中です。

大村君 吉田君に誕生日祝・結婚祝カードの原画  
を書いて頂き、有難うございま  
した。

小間井君 メーカーが続き、新年度  
会長・幹事の方針を聞く事が出来ませ  
んでした。又早出当番に15分遅れまし  
て。

梅原君 母の死去に際し、お香典を頂き有難う  
ございました。お蔭様で満中陰の法要  
を終えました。

沢田君 第81回の誕生日を迎えました。お祝い  
して下さいありがとうございます。

二塚君 素晴らしい誕生日記念カードありがとう。  
橋田君 誕生カードありがとう。  
奥田君 誕生カードありがとう。段々複雑な心  
境になって来ます。

土原君 誕生日には、子供や孫達と一緒に何か  
をしようと考えていたのですが、日を  
忘れていてびっくり。年のせいではし  
ょうか。吉田先生のお祝いカードを下さ  
ってありがとうございます。

松田君 誕生祝カードを頂き、ありがとう。  
合計33,000円 (累計 165,000円)

7. 今週のニュース

- 高校野球、星稜2年連続甲子園へ。通  
算9度目。
- フィリピンの誘拐事件の水野さん(民  
間援助団体オイスカ)65日ぶり解放。
- イラク軍、クウェート制圧。領土問題  
対立で。